

企業行動憲章第①条

安全、品質、環境に十分配慮した製品とサービスを顧客に提供します。

お客様に愛されるものづくり — 「ザ・シチズン」



シチズン時計
取締役相談役
海野 幹夫

企業理念を体現した、シチズンの代表的ブランド — 「ザ・シチズン」

1995年に誕生した「ザ・シチズン」は、業界初の10年間保証、長期修理対応という充実のアフターサービスを約束した最高品質のブランドです。誕生から17年たった現在では、「市民に愛され市民に貢献する」というシチズンの企業理念を体現する代表的なブランドとなっています。

長期にわたりご愛用いただくためにも、性能・品質に関しては一切の妥協を許さず、熟練した技術者であるマイスターのみが組み立てを行い、そして飽きのこないデザインで、いつまでも愛用していただける時計づくりをめざしています。

良いものを長く使っていただくという文化や、ものを大切にするという現在の日本人が忘れがちな感覚を思い出させてくれるものだと思います。

お客様とともにつくり上げるもの

「ザ・シチズン」は長期にわたるお客様とのメンテナンス・修理対応のやり取りのなかで、実に多くのことを私たちに教えてくれます。

良いものをつくれればお客様に喜んでいただくことができます。そしてその声を聞くことで、さらに良い時計をつくりたいと

いうモチベーションにつながり、品質や技術が向上する。そうやってお客様とともにつくり上げていくことがものづくりの原点であると同時に、シチズンの考え方そのものでもあります。

今後はこの価値観をさらに広く伝えていければと思っています。

「ザ・シチズン」に関する詳細情報はWEBサイトにてご覧ください。
<http://citizen.jp/the-citizen/story/index.html>

人材育成がお客様の感動につながる Voice

「ザ・シチズン」は～市民に愛され市民に貢献する～という企業理念を体現したブランドであり、私たちにとっても誇れる、シチズンを代表する時計となっています。この高品質の時計をお客様にご提供するためには、それに関わる従業員一人ひとりの成長が欠かせません。組織のベースは「人」であり、いくら組織や制度を整えても「人」が育たなければ企業も製品も成長しません。そのために私たちの仕事の意味をもう一度確認し、そのなかで働く一人ひとりの頑張りをお客様満足の向上につなげていくのが、私の役目でもありますし、お客様への責任なのだと思います。

シチズン時計 代表取締役社長
青柳 良太

未来につながるデザイン

環境に配慮した製品をつくることは、ものづくりに携わる私たちの使命です。ただ、時計にはファッションとして身につけていただくという側面もあり、「素敵なものを持ちたい」というお客様の気持ちに応えることも欠かせない要素です。高い精度を実現し、環境への配慮もされている。それでいて、いつまでも使い続けていただける心に響くデザイン。そのすべてがバランス良く組み合わされていることがシチズンの強みであり、その商品は未来につながっていくのだと思います。

デザイナーとしてできること

将来を生きる人々の暮らしに負担を残さない。そしてより良い未来にするために今の私たちに何ができるのか。とくにものづくりに関わる人は強く意識しないとイケないことだと思います。環境、品質、そしてデザイン。そのバランスがとれてこそプロダクトデザインとしての価値が生まれると思っています。

私個人の目標としては、人々の生活や「時」に対する価値観に新しい変化を与えるようなデザインを提案してい

きたいという想いがあります。

人の幸せな時間のなかで、自分が関わった時計が時を刻んでくれていたら嬉しいです。

東京デザイナーズウィーク2011 [TOKYO DESIGNERS WEEK 2011]

東京デザイナーズウィークは、国内外から多くの企業・デザイナーが参加するデザインイベントで、シチズンは2010年からこのイベントに参加している。2011年の開催には光の力で発電する時計「エコ・ドライブ コンセプトモデル」の開発過程で生まれた、さまざまなデザインの可能性を展示した。

2010年度の東京デザイナーズウィークにおいて、佐々木が発表した新芽のように繊細なフォルムを描き、朝陽を浴びて目覚め、光の針で時を刻む、まるで植物のような時計をイメージした「光合成する時計」が、来場者から最優秀コンセプトとして選ばれた。



デザイナーによるプレゼンテーション

お客様の期待に応える — デザインの可能性

「環境、品質、そしてデザイン。
そのバランスが未来につながる」

シチズン時計
商品企画本部
佐々木 理土

※手にしているのは自身がデザインした光合成する時計(プロトタイプ)